

関市議会だより

2026
6/1
vol.9

関市のこと
もっと
知りたい!

あっぱと

SEKICITY COUNCIL



TOPICS

特集「新年度予算について」…P2
議案(第1回定例会)…P6
議会の構成 ……P9

委員会報告 ……P10
代表・一般質問 ……P12



新年度予算の

議論を見える化!

市議会サーチ SEARCH!



今年も新年度(令和8年度)予算について話し合う「新年度予算特別委員会」が開催されました。これは議長を除く全議員が委員となり、部局ごとに詳細に議論する場です。今回の特集では、その議論で論点となったテーマや各議員が注目する予算を紹介します。

主な内容をPICK UP!



小中学生給食無償化

令和8年度から「小中学生給食無償化」が実施されます。

義務教育無償化を進め、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る事業として支持する意見が多数を占めました。一方、同時に「せきっこ未来応援券」の支給が廃止されるため、就学援助を受けている世帯においては家計への支援が実質的に低減します。低所得世帯への配慮が必要ではないか等の意見がありました。



論点

1

論点

2

長寿のつどい

補助対象年齢が70歳以上に引き下げられ、対面での開催が補助金の原則となります。

補助対象年齢が段階的に80歳以上までに引き上げられていましたが、令和8年度からは70歳以上に引き下げられます。対象者の健康面の多様さ、補助対象事業の範囲、主体となる自治会の事情など様々な観点で議論がありました。当局に対し、つどいの開催についての基準の例示が必要であるという意見がありました。

総合斎苑空調設備更新について

老朽化した総合斎苑空調設備の更新にあたり、LPガスから都市ガスへの切替を予定しています。

切替は、単独供給による競争性の欠如、コストの試算不足、脱炭素の説明不足、災害対応力の低下といった懸念があるという意見に対し、本件は試験運用という立場で、運用を通じてコストや利便性の効果を検証し、今後、他の施設の空調設備を更新する際の判断材料になるとの意見がありました。(本事業については動議が提出されました。内容はP8に掲載。)

論点

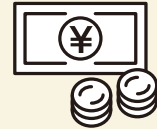
3

その他の委員間討議での論点

- 自衛官募集協力事務について
- 公民センター譲渡・廃止について
- せきっこ未来応援券の廃止について
- 中小企業等就職者奨学金返還支援について
- 合特法による委託事業について
- 介護保険料引下げについて

令和8年度

議員が選ぶ新年度予算



“市民に伝えたい” 推し予算を紹介!

令和8年度予算の中から、各議員が「市民に特に伝えたい」「注目してほしい」と思う事業の一つを選び、その理由を“すばっと”語りました。

市民の暮らしに直結する事業から、未来への投資まで、議員それぞれの視点が光るラインナップです。



354万円

ユースセンター開設

若者のやりたい想いが形になる居場所になることを期待!

北村 隆幸

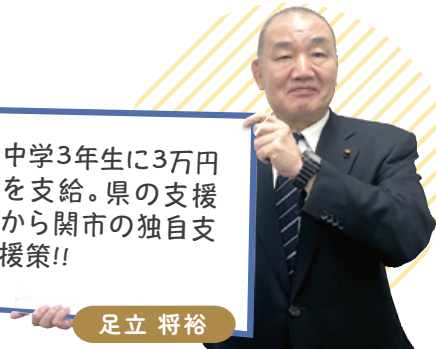


2,490万円

高等学校就学等支援

中学3年生に3万円を支給。県の支援から関市の独自支援策!!

足立 将裕



1,285万円

有機・減農薬の農業促進と保育園での活用

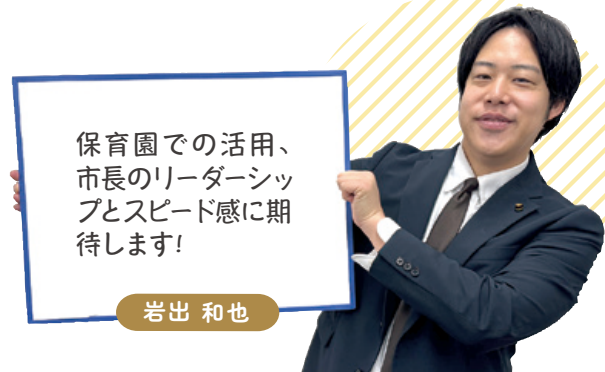
有機農業の恵みを保育園給食で活用し、地産地消の好循環へ!

村井 美美加



保育園での活用、市長のリーダーシップとスピード感に期待します!

岩出 和也

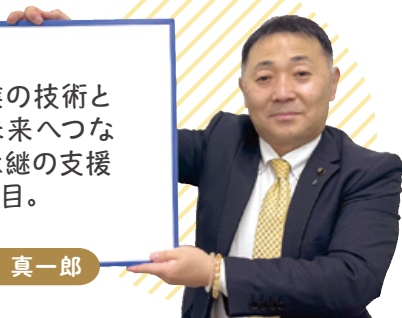


6,008万円

商工業活動支援事業

地場産業の技術と雇用を未来へつなぐ事業承継の支援強化に注目。

池村 真一郎

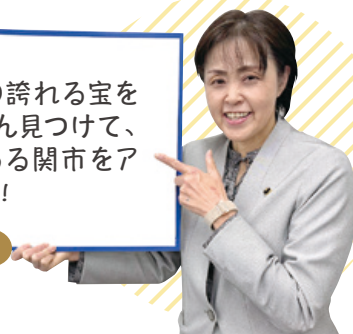


500万円

せきファンクラブ着地型商品造成提供

地元の誇れる宝をたくさん見つけて、魅力ある関市をアピール!

武藤 記子





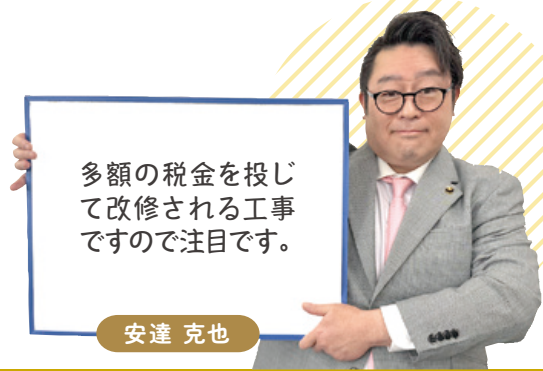
6億950万円

関鍛冶伝承館・濃州関所茶屋改修



施設改修により、刃物ミュージアム回廊の魅力度アップに注目!

渡辺 英人



多額の税金を投じて改修される工事ですので注目です。

安達 克也



1,000万円

まちづくり計画事業

老朽化公共建物の改修と刷新及びインフラ整備の拡充進捗への期待。

三輪 正善



自転車活用推進計画の策定

幅広い市民に利用が可能であるし、脱炭素や健康づくりに役立つ。

小森 敬直



2億9,390万円

道路新設改良費

稲河交差点改良の全作業迅速推進を求めます。

田中 巧



5,500万円

東山西田原線整備(予備設計)

津保川を越え、未来へつなぐ着実な道路整備推進に期待します。

幅 永典



378万円

空き家コーディネーター採用

市内の増え続ける空き家の活用・管理・流通に期待。

長尾 一郎



3億7,542万円

安桜小学校留守家庭児童教室建設

空き教室に頼らず単独運営! 教室が広く受け入れ児童が増えます!

市川 隆也



3億5,565万円

小中学生給食無償化



3年間訴えてきた義務教育無償化拡充の実現を歓迎します!

猿渡 直樹

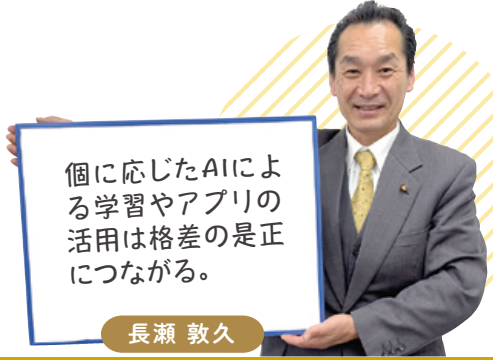
国に先んじて中学生も無償化、非喫食者や私立等に通う子にも配慮。

土屋 雅義



4億9,926万円

STEAM教育推進事業



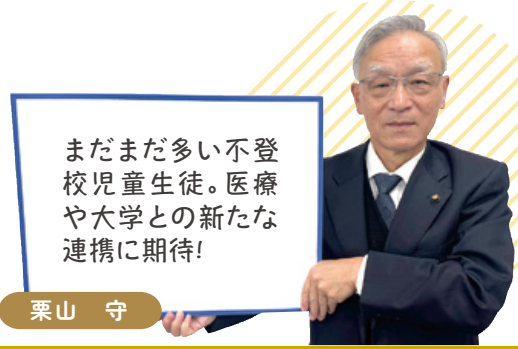
個に応じたAIによる学習やアプリの活用は格差の是正につながる。

長瀬 敦久



4,355万円

不登校対策



まだまだ多い不登校児童生徒。医療や大学との新たな連携に期待!

栗山 守



10億3,720万円

小中学校体育館空調整備



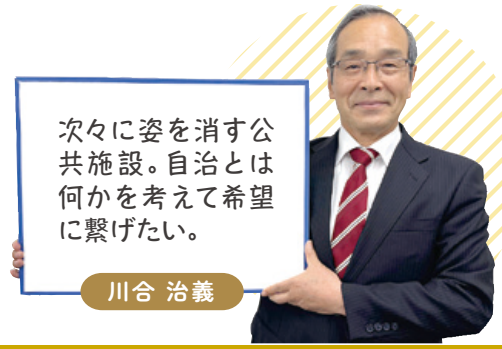
市内全小中学校体育館に空調設備を設置することが決定。

浅野 典之



400万円

上之保小学校閉校式



次々に姿を消す公共施設。自治とは何かを考えて希望に繋げたい。

川合 治義



3億4,566万円

中池公園スポーツ施設整備事業



陸上競技場の第3種公認再取得と施設整備改修について見守りたい。

林 裕之

新年度予算について

詳しく知りたい方はコチラをcheck!



関*キカイちゃん



令和8年度 関市新年度 予算案の概要



令和8年度 せきしのよさん



令和8年 第1回定例会 / 議案・審議結果の説明

令和8年関市議会第1回定例会を2月17日から3月19日までの31日間、開催しました。この定例会では、条例関係10件、一般議案16件、補正予算7件、新年度予算9件、諮問(人事案件)2件、議員提案1件、附帯決議1件の、合わせて46件を審議しました。

定例会日程

- 2月17日 本会議(1日目) 議案上程、説明
- 2月27日 本会議(2日目) 議案質疑、討論、採決、委員会付託等、追加議案上程、採決、代表・一般質問
- 3月2日 本会議(3日目) 一般質問
- 3月3日 本会議(4日目) 一般質問
- 3月4日 本会議(5日目) 一般質問
- 3月5日 建設環境委員会
- 3月9日 総務厚生委員会
- 3月10日 文教経済委員会
- 3月11、12、13、16日 新年度予算特別委員会
- 3月19日 本会議(6日目) 委員長報告、討論・採決、追加議案上程、採決



主な議案の説明

議案第9号 関市地区公民センターの管理に関する条例の一部改正

35カ所の地区公民センターを廃止

主なる内容

地区公民センター11カ所を譲渡及び24カ所を閉鎖することに伴い、当該施設の規定を削除する

議案第29号 令和8年度関市一般会計予算

主なる予算 <一般会計> 予算額485億6,600万円 (前年比2.6%増)

明日の
しあわせを
つくる予算

こどもたちの笑顔と
希望があふれる
まちのために

- 小中学生の給食無償化 3億5,565万円 幼稚園・保育園から中学校まで給食費が無償に
- 屋内遊び場施設整備 2,000万円 わかくさ・プラザ総合福祉会館を改修(実施設計)
- 高等学校就学等支援 2,490万円 中学3年生に3万円を給付(市独自事業)
- 安桜小学校留守家庭児童教室建設 3億7,542万円 利用者増加に対応するため、新たに整備

活気が
あふれるまちの
ために

- 「せきファンクラブ」推進 1,020万円 ファンクラブ1周年記念イベントの開催等
- 関鍛冶伝承館・濃州関所茶屋改修 6億950万円 展示スペース拡張・飲食スペース改修
- 工場・商業施設誘致のための道路整備・土地区画整理 1億9,605万円

ずっと安心・快適
があふれるまちの
ために

- 小中学校体育館の空調整備 10億3,720万円 実施設計(小中学校7校)、設置工事(小学校10校)
- 水道基本料金免除(8月分まで延長) 1億5,130万円 物価高騰の影響を緩和
- デジタル版ハザードマップ作成 1,268万円 災害リスク・避難所情報のデジタル化

第1回定例会 議案の審査結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容	付託委員会
承認第1号	専決処分の承認(令和7年度関市一般会計補正予算(第10号))	歳入歳出額 3,938万円(衆議院議員選挙費、除雪作業業務委託、凍結防止剤購入)	-
承認第2号	専決処分の承認(令和7年度関市中小企業従業員退職金共済事業特別会計補正予算(第1号))	歳入歳出額 1,125万5千円(加入者の退職に伴う退職金の支払)	-
議案第1号	関市行政手続条例の一部改正	行政手続法の一部改正に伴い、聴聞の通知等における公示送達の方法を改める改正	総務厚生
議案第2号	関市附属機関設置条例の一部改正	市長の附属機関に関市自転車活用推進協議会を追加、市長又は教育委員会の附属機関に関市プロポーザル審査会を設置	総務厚生
議案第3号	関市行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例の一部改正	建物の行政財産において物品の販売又は飲食等に係る役務の提供を行う場合の目的外使用に係る使用料について、統一的な算定方法を定める改正	文教経済
議案第4号	関市債権管理条例の一部改正	市の債権の放棄に係る要件を変更する改正	総務厚生
議案第5号	関市介護保険条例の一部改正	高齢基礎年金満額受給者の保険料負担に影響が出ないよう、第1号被保険者の介護保険料に関する区分のうち、第6段階及び第7段階の所得基準の一部について、809,000円から826,500円に基準所得額を改定するもの	総務厚生
議案第7号	関市火入れに関する条例の一部改正	林野火災に関する注意報が新設されたことに伴い、当該注意報が発令された場合においても森林等における火入れの禁止又は中止を求めることとする改正	文教経済
議案第8号	関市創業支援拠点施設条例の一部改正	カフェスペースの使用を促進するため、その使用期間の変更及び使用料を改定する改正	文教経済
議案第10号	関市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴う改正	総務厚生
議案第11号	関市過疎地域持続的発展計画の変更	関市過疎地域持続的発展計画の期間の変更、事業の加除等をするため、同計画を変更する	文教経済
議案第23号	市道路線の廃止	巾2丁目(1路線)	建設環境
議案第24号	市道路線の認定	倉知(1路線) 巾3丁目(1路線) 計2路線	建設環境
議案第25号	令和7年度関市一般会計補正予算(第11号)	歳入歳出額 65万5千円 ふるさと納税事務等	各常任委
議案第26号	令和7年度関市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	事業勘定:歳入歳出額 △3万1千円 直診勘定:財源変更	総務厚生・建設環境
議案第27号	令和7年度関市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出額 10万4千円	総務厚生
議案第28号	令和7年度関市水道事業会計補正予算(第5号)	収益的収入及び支出額 △2,000万円	建設環境
議案第31号	令和8年度関市財産区特別会計予算	令和8年度当初予算 710万円 前年比26.8%増	予算特別
議案第32号	令和8年度関市中小企業従業員退職金共済事業特別会計予算	令和8年度当初予算4億4,500万円 前年比543.1%増 事業を国へ移管することに伴うもの	予算特別
議案第33号	令和8年度関市公設地方卸売市場事業特別会計予算	令和8年度当初予算1,560万円 前年比11.4%減	予算特別
議案第36号	令和8年度関市水道事業会計予算	令和8年度当初予算39億7,800万円 前年比11.4%増	予算特別
議案第38号	財産の取得(GIGAスクール用タブレット端末)	GIGAスクール用タブレット端末購入 4億5,152万223円	-
議案第39号	財産の取得(塵芥車)	塵芥車2台の購入 2,420万円	-
議案第40号	令和7年度関市一般会計補正予算(第12号)	歳入歳出額 9億7,646万円 旭ヶ丘中長寿命化改良事業等	-
諮問第1号	関市監査委員の選任	工藤 智氏(新任)	-
諮問第2号	人権擁護委員の推薦	高井 かおる氏(新任)	-

議員提案(意見書)



非核三原則の堅持を求める意見書(要旨)

1967年に提唱された「非核三原則」は、日本の揺るぎない国是として歴代内閣に引き継がれ、国際社会でも「核兵器のない世界」を目指す日本の立場を象徴してきた。国際情勢の緊張や安全保障関連三文書の改定議論を背景に、非核三原則が見直されるのではないかと懸念が生じている。「二度と過ちを繰り返さない」という被爆者の切実な

願いを次世代へ継承し、核廃絶へ努力し続けることは、唯一の戦争被爆国である日本の果たすべき使命である。国会および政府は、被爆地の思いを真摯に受け止め、世界の安定と平和の基盤である非核三原則を今後も確実に堅持することを強く求める。

意見書提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣

本会議で賛否が分かれた議案

〔表示記号〕 議決結果：○可決、×否決・不採択 賛否状況：○賛成、×反対 －：議長は採決に加わらない		議長 議決結果	新政クラブ										市議会 公明党		日本共産党 関市議員団		若草 クラブ		清流 クラブ		無会派			
議案番号 付託委員会	議案名 主な内容		渡辺 英人	村井 美加	岩出 和也	北村 隆幸	長瀬 敦久	池村 真一郎	林 裕之	武藤 記子	長尾 一郎	浅野 典之	三輪 正善	足立 将裕	幅 永典	市川 隆也	小森 敬直	猿渡 直樹	土屋 雅義	栗山 守	安達 克也	田中 巧	石原 教雅	川合 治義
議案第6号 建設環境	関市国民健康保険税条例の一部改正 国民健康保険税の課税額として合算する額に、子ども・子育て支援納付金課税額を追加する改正	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第9号 総務厚生	関市地区公民センターの管理に関する条例の一部改正 35カ所の地区公民センターの譲渡または閉鎖により廃止するため、これらの施設に係る規定を削る改正	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第12号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市新田公民センター） 関市新田公民センター管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第13号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市四季の台公民センター） 関市四季の台公民センター管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第14号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市関ノ上東公民センター） 関市関ノ上東公民センター管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第15号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市洞戸通元寺集会场） 関市洞戸通元寺集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第16号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市板取白谷集会场） 関市板取白谷集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第17号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市板取田口集会场） 関市板取田口集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第18号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市富之保武儀倉集会场） 関市富之保武儀倉集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第19号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市富之保岩山崎集会场） 関市富之保岩山崎集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第20号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市中中之保久須集会场） 関市中中之保久須集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第21号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市中中之保乙亀集会场） 関市中中之保乙亀集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第22号 総務厚生	財産の無償譲渡（関市上之保船山集会场） 関市上之保船山集会场管理運営委員会へ無償譲渡	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第29号 予算特別	令和8年度関市一般会計予算 令和8年度当初予算485億6,600万円 前年比2.6%増	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
動議 —	議案第29号 令和8年度関市一般会計予算に対する附帯決議 総合斎苑わかさ空調設備更新事業について事業執行にあたり適切な措置を求める	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○
議案第30号 予算特別	令和8年度関市国民健康保険特別会計予算 令和8年度当初予算 事業勘定87億70万円 直診勘定3億3,790万円	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第34号 予算特別	令和8年度関市介護保険事業特別会計予算 令和8年度当初予算75億7,860万円 前年比3.8%増	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第35号 予算特別	令和8年度関市後期高齢者医療特別会計予算 令和8年度当初予算16億8,860万円 前年比12.5%増	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第37号 予算特別	令和8年度関市下水道事業会計予算 令和8年度当初予算65億1,700万円 前年比23.6%増	◎	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
市議第1号 —	非核三原則の堅持を求める意見書 非核三原則の見直しを懸念する声がある。 非核三原則の堅持を強く求める	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

PICK UP!! 「動議」

議案第29号 令和8年度関市一般会計 予算に対する附帯決議

議案第29号に対して、次の内容で附帯決議が提出され、可決されました。

内容 当該予算に計上の「総合斎苑わかさ空調設備更新」事業執行にあたり適切な措置を求める

- 1.ランニングコストの再精査
- 2.二酸化炭素排出量削減の根拠の明確化と代替案の検討
- 3.「試験的導入」に対する目的の明確化



関・ギカイ・マン

令和8年度 議会の構成

令和8年度の市議会の
構成をお知らせします！



議長



渡辺 英人

副議長



池村 真一郎

監査委員



武藤 記子

議会運営委員会



(上) 北村 隆幸 小森 敬直 栗山 守 安達 克也
(下) 浅野 典之 ◎三輪 正善 ○林 裕之 市川 隆也

総務厚生委員会



(上) 長尾 一郎 足立 将裕 村井 英美加 安達 克也
(下) 武藤 記子 ◎土屋 雅義 ○岩出 和也 猿渡 直樹

文教経済委員会



(上) 幅 永典 池村 真一郎 川合 治義
(下) 三輪 正善 ◎林 裕之 ○北村 隆幸 栗山 守

建設環境委員会



(上) 石原 教雅 市川 隆也 田中 巧
(下) 渡辺 英人 ◎浅野 典之 ○長瀬 敦久 小森 敬直

以下の委員会は、令和7年度からの継続です。

政治倫理に関する調査特別委員会

◎田中 巧 ○岩出 和也 村井 英美加 長尾 一郎 土屋 雅義 足立 将裕
幅 永典 浅野 典之 三輪 正善 猿渡 直樹 石原 教雅

議会広報委員会

◎市川 隆也 ○北村 隆幸 川合 治義 安達 克也 長瀬 敦久 池村 真一郎
林 裕之 武藤 記子 栗山 守 足立 将裕 猿渡 直樹

◎:委員長 ○:副委員長



議会には、提出された議案について詳しく審査する常任委員会や特定の課題を審査・調査する特別委員会が設置されています。ここでは、第1回定例会で審査された主な内容をご紹介します！

委員会では

市政は範囲が広いので、関市議会では議員が3つの委員会に分かれて担当する分野について詳しい審査を行っています。



市長公室、財務部、健康福祉部、その他の常任委員会に属さない事項

議案第2号

関市附属機関設置条例の一部改正

- Q** 1つのプロポーザル審査会が設置され、その審査会がすべての業務に関して審査を行うことになるのか。
- A** 業務ごとにプロポーザル審査会を設置し、委員を選定する。なお、委員構成に関して市職員の割合を制限するような規定は設けていない。

※プロポーザル

公募又は指名により複数の事業者からその業務等の実施に関する提案を求め、その中から最も優れた提案を行った事業者を選定する方式。

議案第9号

関市地区公民センターの管理に関する条例の一部改正

- Q** 無償譲渡となる11施設の改修状況は。
- A** 10施設で外壁や屋根の改修、LEDの設置工事をした。1施設は地元からの要望が無く、実施していない。
- Q** 要望にはすべて応えることができたのか。
- A** カーテンの取付け等は、消耗品・備品等に該当することから、改修費用には含まず、地元での負担をお願いした。
- Q** 廃止する24施設の今後の取り扱いは。
- A** 建物は市が管理し、原則解体しない。民間に利用してもらうよう広く募集をかけ、売却などを検討している。借地の場合は解体し、元の状態に戻して返還する。
- Q** 公民センター・集会場の削減により、地域の活動の場が失われるなどの影響について検討されたか。
- A** 政策検討会議で協議の上進めている。代替施設でも実施可能と考えており、困った場合は市の窓口にご相談いただきたい。



地元へ譲渡する集会場の1つ

教育委員会、協働推進部、産業経済部、農業委員会

議案第7号

関市火入れに関する条例の一部改正

Q 火入れと野焼きの違い、また火入れの範囲や禁止条件は。

A 火入れは森林法で禁止されているが、森林や原野の特定の場所（森林または森林の周囲1 kmの範囲内の原野など）を対象とし、草を刈っていない状態で面的に火をつけ、主に病害虫の駆除や林地の更新の促進などを目的とした計画的な焼却に限り、市へ申請し許可された場合に実施できる。一方、野焼きは、刈り取った田畑の草など農業や林業でのやむを得ない焼却は認められる場合がある。

なお、火入れの許可を得た期間中であっても、強風注意報もしくは乾燥注意報が発表され、または林野火災に関する注意報もしくは火災警報が発令された場合には火入れを行ってはならない。



火入れの様子

3月10日(火)

市民環境部、基盤整備部

議案第24号

市道路線の認定

Q 今回の認定区間について、事業の地元説明の状況及び完成の見込みは。

A 倉知一ノ門線の第一工区については、事業説明等を行っているが、第二工区については、まだ具体的な説明を行っていない。今後、事業内容を示しながら早期に地元調整を図っていく考えである。また、第一工区と第二工区の一部を並行して整備を進め、令和12年度には倉知一ノ門線と関本巣線の交差点に信号機を設置し、令和17年度を目途に下倉知幹線までの事業区間を完成させたいと考えている。

Q 倉知一ノ門線の第一工区の屈曲部について、計画では都市計画道路のとおり直線になるはずだが、今後の整備の見込みは。

A コロナ禍により地元調整が難航していたが、事業説明を行い地元から都市計画道路の計画に対する理解が得られた。今後は用地補償の交渉を進め、再来年頃から当該箇所の工事を進めたいと考えている。



倉知一ノ門線第一工区の屈曲部

3月5日(木)



市政に対する代表・一般質問

代表・一般質問は、市の行政全般について市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。

第1回定例会では、15人の議員が代表・一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。

質問の全内容は、YouTubeの録画配信や後日公開される会議録検索システムで確認することができます。



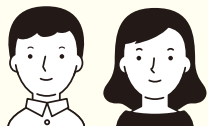
本会議の様子はこちらから

YouTube
録画配信



<https://www.city.seki.lg.jp/0000001807.html>

市政を
もっと身近に



会議録検索



<https://www.city.seki.lg.jp/0000001470.html>

掲載順は、質問を行った順番になっています。なお、掲載された原稿は各議員が作成しているため、ご不明な点は議員にお尋ねください。

令和8年度当初予算

新規・重点事業は

「住んでよかった・暮らしてよかった」なまちの実現を目指し、3つの視点に沿って、まず、給食費無償化やユースセンターの開設、留守家庭児童教室の整備などにより、子どもや若者、子育て世帯への支援を充実させます。次に、せきファンクラブの推進や関鍛冶伝承館の改修、事業継承・人材確保支援、農業基盤整備などを通じて地域経済の活性化を図ります。さらに、学校体育館の空調整備や水道管の耐震化、デジタルハザードマップの整備などにより、防災力の強化と安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

学校を取り巻く課題

全国的な学校給食費の抜本的な負担軽減に対する市の対応は

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和8年4月から小中学校の給食無償化を実施します。市立小中学校で給食を喫食している児童生徒は給食費の徴収を行わず無償とし、食物アレルギーなどで給食を停止している場合や市立小中学校に在籍していない児童生徒について

新政クラブ代表質問

いけむら しんいちろう
池村 真一郎



も、申請に基づき学校給食費相当額を給付します。小中学校の給食無償化を実施することで、保育園・幼稚園児から中学生までの子を持つ保護者の経済的負担を軽減します。これにより、より一層の子育て支援を進めます。

企業誘致

今後の方針は

令和7年度の可能性調査の結果を踏まえ、今後の企業誘致については、池尻広見地区の閑見インターチェンジ付近を優先候補地として工場用地開発を進め、民間活力を活用した整備を促進する方針としました。製造業や物流業などを中心に地域と調和した優良企業の誘致を進め、本市の産業のさらなる発展と地域の活性化に資する開発整備につなげていきます。

その他の質問は
コチラから！



令和8年度施政方針及び 新年度予算

物価高騰対策は

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和8年度にかけて実施します。具体的には「暮らしにエール商品券」として1人当たり6000円の「せきpay」又はせきチケットを3月から順次配布する予定です。これに加えて、低所得世帯への給付金や令和8年8月までの水道料金基本料金の免除を引き続き実施します。

Q 児童生徒に1人1台のGIGAスクール端末（タブレット）が更新されず、新たな探究学習の利活用ほかに、デジタル端末を不登校児童生徒への支援に活用できないか

A 不登校児童生徒支援の一助になると考え、現在、希望者に対して、端末を活用して授業のオンライン配信を実施しています。感情・元気を「見える化」する教育相談アプリ「ここたん」を14校で端末に導入しており、早期支援につながった事例もあります。令和8年9月から全小中学校に新たなアプリを

基金の残高と流動性資金

Q 基金の令和8年度末残高見込額は約394億円、現在の債券保有額は約392億円です。令和8年度の流動性資金は確保されているか

A 令和7年度の歳計剰余金の2分の1を基金に積み立てる予定であり、また、各事業費の確定等により、基金からの充当額の減少も見込めるので、一定の流動性が確保され、事業遂行に支障が出ない見込みです。また、令和7年度末には、基金の運用益の見込み額約2億4000万円を活用して、約20億円の債券の現金化を進めたいと考えています。

導入し、不登校対策に生かしていきます。

市議会公明党代表質問
あだち まさひろ
足立 将裕



その他の質問は
コチラから！



学校教育夢プラン

令和8年度の重点是

① STEAM教育
タブレット端末更新にあたり、家庭を巻き込んだデジタル・シテイズンシップ教育の充実を図ります。AIについて教師向けには研修を、児童生徒向けには出前講座を実施して、より良く活用できるようにしていきます。

② 不登校対策事業
管理職、教育相談担当のみならず一般教職員も対象にして、具体的事例を基に医療の視点から児童生徒の理解を深める研修を実施していきます。

また、9月、新校務支援システムへの移行に伴い、全小中学校に教育相談アプリを導入し、児童生徒の心の悩みに気付きやすい環境づくりをしていきます。

*デジタル・シテイズンシップ
インターネットやSNSなどのデジタル技術を活用して社会に積極的に関与し、同時に責任ある行動を取る能力

小規模特認校制度

Q 本市で初めて富野小学校に小規模特認校制度を導入するにあたり、本制度成功に向けて、教育委員会としての具体的な支援策は

くりやま まさひろ
栗山 守が
問います！



A 本制度を進めていく上で、市民に対する周知が重要と考えられています。そのため、広報誌、市や学校のホームページでの情報発信を行うとともに、市内全学校の教職員に対して保護者や児童生徒からの相談に対応できるよう小規模特認校制度や隣接区域選択制という就学制度の周知を図っていきます。

行政財産の目的外使用料

Q 他の自治体と比較して、本市の算出方法は妥当か

A 県内各自治体によって様々な算出方法が採用されていて統一の基準はないと判断しています。
本市としては「公有財産の貸付料及び借受料算定要領」に準じ、行政財産の目的外使用料徴収にも適用することが、最も適切であると考えました。

その他の質問は
コチラから！



シティバス利用者増

Q 最近のバス利用者の増加例と増加の理由は

A

買い物循環線では令和6年10月から令和7年9月までの1年間の利用者数は6万5479人で、前年よりも4437人増え7.3%の増となり、5年連続で利用者が増加しました。令和2年10月の路線再編により、1時間に1本のパターンダイヤを採用し、分かりやすさから利用者の増加につながったようです。また、関上之保線でも同じ1年間の利用者数は3万6392人で前年よりも2233人増え、6.5%増加しました。関シテイターミナルやせき東山などの乗り換え地点での乗降利用客が増加しており、武儀・上之保地域から通勤・通学や買い物などの移動手段としての利用増が考えられます。

登山デジタルスタンプラリー

Q 成果を受けて交流人口増加策を練るべきでは

A

この事業の名称は、「せきデジタルスタンプ」といい、整備された

かわい ほろよし
川合 治義が
問います!



山々とその地域の魅力を市内外に発信するために開催しました。令和7年10月から令和8年1月までの4か月間、市内9の登山コース、17スポットの地元の方々に愛され整備されている山々を巡り、スマートフォンを利用してデジタルスタンプを集めるイベントとして実施しました。

参加者(登録者)数は1816人、そのうちスタンプを1つ以上取得した方は1331人で、スタンプ総数は1万1072個、全17カ所を完全踏破した方は396人でした。また山頂にある銘板との自撮り写真を、登った日に温泉窓口で見せると入浴料が200円割引される登山温泉割引利用者は、板取川温泉605人、上之保温泉331人でした。今後も各種団体との連携を強化し、地域活性化を図っていきます。

その他の質問は
こちらから!



関市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)での木質バイオマスの活用

Q 木質バイオマスの地産地消は

A

再生可能エネルギーとして位置づけており、これを熱源としての利活用を推進するために、木質ペレット等を燃料として活用したストーブやボイラー等の設備導入等、普及拡大について検討します。

岐阜県「エネルギーの森づくりの方針」

Q 試験的に富野の旧ロジスティクス計画跡地などの市有地や手入れされていない広葉樹林など、現在利用されていない、又は、森林価値の低い森林を「新しい林業」や「エネルギーの森」として活用しては

A

県の指針を注視しつつ、地域の実情に応じ、山林所有者や関係機関と連携しながら、段階的な導入も視野に入れた具体的な方策について慎重に検討します。

ながせ あつひさ
長瀬 敦久が
問います!



林業従業者の確保・地域経済への波及について、作業員賃金の向上、森林所有者の収入増加を目指すことは

A

県産材を燃料材として利用していくことで、林業における新たな収益源を確保し、地域林業の活性化を図ることを県は目指しており、本市も注目しているため、その効果と課題を研究していきます。

Q

森林環境譲与税をバイオマス関連施策や林業機械の共同利用支援に活用し、間伐材を木質バイオマスとして搬出している木の駅プロジェクトを継続させては

A

効率的な作業のための機械導入が活動の活性化につながると考えられ、要望があれば検討します。

その他の質問は
こちらから!



農業政策

Q 環境調和型農業と消費者をつなぐ新たな仕組みづくりは

A 環境調和型農業については、生産と販売は両輪であり、環境に配慮した農業が消費者に評価され、選ばれることが、生産者の所得向上と地域農業の持続可能性につながると考えます。

本市では、直売所やイベント等の既存の場を活用し、環境調和型農業の意義や、環境配慮の取組、地元農産物の魅力が伝わる機会を創出していきます。「せきファンクラブ」についても、食や農の情報発信、体験機会の創出に活用し、地域の魅力向上と関係人口の増加につなげていきます。

Q 有機農業による持続可能な農業生産・農村づくりの推進は

A 有機農業には、栽培技術の確立や病害虫対策、流通・販売、消費者理解の促進といった重要な課題があるものと認識しています。合わせて生産と販売を一体で進める視点も重視しています。



いわて かずや
岩出和也が
聞きます!

令和8年度は、自走式堆肥散布機とアイガモロボット導入により有機農業の省力化・低コスト化を進め、環境負荷低減と地域資源循環に貢献する持続可能な農業を推進します。

そして、今後とも国と連携しつつ、地域の実情に即した施策を力強く推進し、環境と生産性が調和した、持続可能な農業の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでいきます。



その他の質問は
コチラから!



子ども・若者の権利条例

Q 条例制定目的と意義は

A 令和7年3月に作成した「子どもまんなか計画」に基づき、すべての子どもの笑顔と幸せを守るために、子どもの権利を広く周知し、市民共通のルールとして明文化・共有することで、権利の確保と実効性のある支援の基盤を整えるものです。また、子どもが尊重され、子どもの幸せと健やかな成長を支える社会環境を制度的に担保することで「子どもまんなか社会」の実現を目指します。

Q 第三者的「子どもの権利救済機関」の設置の考えは

A 本条例案には、相談対応、調査救済及び助言を担う第三者機関である「権利擁護委員会」の設置を規定する予定です。いじめ、虐待、差別などから子ども立場に立つて子どもの人権を守ることで、権利保障体制への信頼向上を図っていきます。

子どもの権利



※子どもの権利条約 4つの基本的な柱



はば なほり
幅永典が
聞きます!

介護保険料所得段階の更なる多段階化

Q 第10期介護保険事業計画案に反映していく考えは

A 「所得段階の更なる多段階化」については、「保険料の基準額の設定」とともに、慎重に検討すべき重要な課題であると考えています。所得段階の多段階化は、市民の公平性を高める一方で、一部の方に対しては負担が増える可能性もありますので、複数のパターンによる試算で検討するとともに、国の動向を注視し、必要な情報を踏まえて計画に反映し、高齢者施策等運営協議会において慎重に審議してまいります。

その他の質問は
コチラから!



大型イベントの運営体制

Q 刃物まつり・関市民花火大会の運営における市の責任の範囲と支援の現状は

A 両イベントは実行委員会形式で運営しており、市は構成委員及び事務局として準備や会計、会議運営を担っています。令和7年度は刃物まつりに1600万円、関市民花火大会に1100万円の補助金を概算交付し、職員による人的支援も行っています。運営上の責任は、原則実行委員会が負うことになっています。

Q 出店場所や出店料の決定方法は、公平性が確保された仕組みか

A 刃物まつりでは、刃物類販売事業者の出店位置は抽選で決定し、出店料は販売市部会の事業計画に基づき均一としています。一方、飲食・物品提供事業者の出店位置や出店料は従来から直接的な関与はしていません。

Q 今後の公平性・透明性が確保されたイベント運営の方針は

むらい ふみか
村井 芙美加が
問います!



A 今後のイベント運営については、市が補助金を投入している公共性の高い事業であることを踏まえ、様々な意見については実行委員会と協議の場を確保していきます。

幼稚園・保育園給食における地産地消の推進

Q 令和7年10月より給食費が無償となったことを契機に、幼稚園・保育園の給食の地産地消をより一層推進する考えは

A 安定供給の確保や事務負担などの課題はありますが、地元産食材の活用は重要と認識しています。今後は農家からの直接購入の検討や、有機栽培米の活用などを進めていきます。

その他の質問は
コチラから!



小中学校の安心安全の確保について

Q 学校内での盗撮事案の対策は

A 昨今、教職員による盗撮事案が報道され、世間の学校に対する信頼度は大きく揺らいでいます。「安全安心で、信頼される学校」を目指して、教員研修や校内の環境整備、施設点検を日常的に行い、未然防止と抑止に努めています。

Q 安全で安心して学校生活を送れる学校づくりは

A 安全・安心な学校づくりは学校教育の基盤であるという共通認識のもと、環境面及び心理面の対策は必要不可欠だと考えます。危機管理マニュアルの作成や「SOSの出し方教育」「情報モラル教育」など、環境面と心理面の両面からのアプローチを図ることで、より安心で安全な学校づくりを目指していきます。

長良川鉄道の将来展望

Q 長良川鉄道を残すための取組は

あだち かつなり
安達 克也が
問います!



A 長良川鉄道協力会へ補助金を交付し、駅周辺の環境美化などの活動に対し支援を行っています。今後も、長良川鉄道や沿線市町と協力し、PRや利用促進につながる活動を行い、安定した運営となるよう支援を行います。

Q 観光事業との連携や集客施設、店舗などの誘致としては

A 観光事業との連携として、関鍛冶伝承館での企画展、観光協会が実施するイベントなどでの連携を強化します。また、極めて厳しい経営状況にあることから、新たな店舗の誘致には、既存施設の活用が不可欠です。

その他の質問は
コチラから!



次世代の健康を守る 保健事業の充実

Q ヤング健診は30歳からになってきているが、健康意識の定着と疾病の早期発見のために対象年齢を10代後半に引き下げている

A 近年、若年性の高血圧や糖尿病が増加しているというデータもあるため、疾病の早期発見・早期治療や、若い時から自身の健康や生活習慣に関心を持つてもらうという観点から若い世代の健診受診について、検討する必要性があると考えています。

ヤング健診の対象年齢の引き下げについては、本市の健診事業について協議する場である健診検討会議にて、相談・検討をすすめていきます。

放課後等デイサービス 利用者の現状

Q 市内の放課後等デイサービスの事業所数は

A 現在、市内の放課後等デイサービスは、21事業所あり、定員の合計は235名です。平成29年には12事業所で、定員の合計は120名でしたので、8年間で事業所及び定員の数はともに約2倍となっています。

武藤 記子が
伺います！



Q 近年の放課後等デイサービスの利用に係る障がい児通所受給者証発行数は

A 令和8年1月1日現在、331件です。なお、定員よりも96名の方が過剰になっていて、施設を利用できない状態になっているということではありません。利用計画は、希望する日数や時間などを調整された上で作成されているため、待機児童がいる状態ではありません。

Q 市と各事業所が地域の課題を定期的に共有するような場の確保は

A 本市では市長の附属機関として関市障がい者総合支援協議会が設置されており、当協議会には「子ども部会」が組織されています。そこでは、市内の放課後等デイサービスや児童発達支援など障がい児の通所支援を提供する事業所の参加のもと定例で会議を開催し、情報共有や意見交換の場としています。

その他の質問は
コチラから！



都市計画区域・都市計画税

Q 都市計画税収入額と都市計画事業の総額は

A 令和6年度は、収入額が約10億1000万円、都市計画事業費総額が11億3000万円でした。収入額は増加傾向で、事業費は減少傾向です。

Q 都市計画事業に占める都市計画税の割合、及び事業費の内訳の割合は

A 令和6年度の割合は、91%で、年々高まってきている状況です。令和6年度の事業費割合は、一般会計事業24.3%、中濃広域事務組合事業8.5%、下水道事業67.2%でした。

Q 本市の都市計画事業の約7割を占める下水道事業の大半は過去の事業に対する償還金である。都市計画区域と都市計画区域外での税負担に対する不公平感を抱く市民が多いが、その解消は

A 都市計画事業は、都市計画区域全体の利便性や魅力向上を通

あさの のりゆき
浅野 典之が
伺います！



Q 都市計画税の充当割合が90%を超える自治体は全国的に見ても1割程度。都市計画事業こそが未来への投資であり、もっと積極的に都市計画事業を展開すべきでは

A 東山西田原線の予備設計に着手し、下有知東山線は県と検討を開始しました。市中心部を取り囲む外環状道路の整備を進めていきます。新規事業は、長期的な視点に立った都市計画マスタープランに基づいて進めていきます。

その他の質問は
コチラから！



高卒就職者への積極支援

Q 市内高校の就職率と市内企業への就職の割合、高校に届く求人倍率は

A 令和8年3月卒業者では、関商工高校の就職率は58.6%、市内就職者は全体の18.8%、求人倍率は工業科30倍、商業科48倍です。関有知高校では、就職率50%、市内就職者は25%、求人倍率は6.7倍です。

Q 有給で働きながら専門的なスキルと知識を学び、将来へのビジョンを明確化するアプレンティスシップに、高校在学中から取り組んで

A アプレンティスシップは実務を通じたキャリア形成に、短期では得られない価値があると考えます。学業との両立や関係者の理解、企業の指導体制確保など課題もあります。今後は他市の先進事例を参考に制度の研究を進めていきます。

国民健康保険の取組

Q 特定健診受診率が34.3%(R6)と国の目標の60%に大きく届いていない現状だが、対策は

きたむら たかゆき
北村 隆幸が
問います!



A 受診率が30%台前半と低迷しているため、令和7年度からAI分析とナッジ理論を用いた勧奨業務を外部委託しました。未受診者の健康意識等に合わせた勧奨を行うことで受診率向上を目指します。

関市ゆかりの禅僧・仙厓を活かす

Q 全国的に人気が高い仙厓を市は活かせていない。所蔵する仙厓の作品と方針は

A 本市は、仙厓の絵画作品を中心に42点所蔵しています。武芸川ふるさと館の特別展示室にて、常設展示しており、年に4回の展示入れ替えを行っています。市の財産である仙厓の魅力をSNS等で発信します。生誕300年に向け他の美術館と連携した企画も検討し、市内外へ魅力を伝えていきます。

非核三原則

Q 高市政権の「核を持ち込ませず」は非現実的などとする見直しについての見解は

A 本市は、平和都市宣言を行っています。この宣言は二度と戦争の悲劇を繰り返さない、核兵器のない平和な世界を築くという本市の揺るぎない決意と願いを示すものであり、そのため今後もその理念を変わることなく堅持していきたいと考えています。

また国の外交安全保障政策において核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則は我が国が国際社会に表明している重要な原則であると認識しています。本市は非核三原則の精神を理解し、尊重する立場です。

本市は、未来において平和の理念が途絶えることなく継承されるためには、児童生徒への平和教育が大切であると考えています。令和8年度は新たに、長崎市で開催される平和研修に市内中学生8名の派遣を予定しています。

この経験により、核兵器廃絶や平和について若い人たちが考える機会になってほしいと考えています。

PFAS汚染対策

こもり よしなお
小森 敬直が
問います!



Q 発生原因調査の進捗は

A 令和7年2月、白金水源地周辺13力所の井戸水の検査を行いました。結果は最小値が5ナノグラム未満、最大値が22ナノグラムでした。令和7年度も10力所で実施予定です。(3月に実施済)

Q 今後の取組は

A 白金水源地のPFASの現状は、国の暫定目標値以下です。また、具体的な対策として、白金第二水源地からバイパス管を設置し、白金水源地の水と混ぜ合わせ、PFAS濃度を下げる工事を行いました。さらに、今後は仮設活性炭ろ過装置の設置工事を行い、この対策によって、30ナノグラムを5ナノグラム未満まで減らすことができるの見込んでいます。(3月に工事済) 今後も適正な水質管理に努めます。

その他の質問は
コチラから!



その他の質問は
コチラから!



5歳児健診の導入

Q 5歳児健診のメリットは

A 発達の遅れや発達障害の可能性を早期に発見できます。また保護者としては、子どもの発達に関する不安や疑問を解消する機会となります。

Q 早期導入の考えは

A 先行事例を参考にしながら令和9年度以降の実施に向けて検討しています。円滑な実施のため、令和8年度から課題の整理に取り組みます。健診のための人員確保や対象者への周知、健診内容の検討、医療や療育、教育相談といった専門機関などとの連携体制の構築に取り組みます。

健活事業

Q 事業内容と成果は

A 対象者は要支援の認定者又は生活機能の低下が見られる65歳以上の高齢者で、短期集中予防サービスを行い自立を目指します。

健活は無料で送迎サービスも提供し週2回・3か月間のプログラムを実施します。

地区公民センターの地元移管

Q 意向調査の進捗状況は

A 90施設の内訳は、譲渡が63施設、廃止が25施設、検討中が2施設となっています。

Q 廃止施設の見直しは

A 施設の維持費や将来の解体費用を工面できないため、廃止を決めた施設は5施設あります。たとえ廃止が決定した後でも地域が譲渡を希望される場合は譲渡に向けた手続きや条件調整を行う仕組みを整えています。



いちかわ たかひろ
市川 隆也が
問います!

公民センター廃止の再考

Q 令和7年度末に35の公民センター・集会所が廃止され、残る55施設も順次廃止されていく。公民センター廃止は地域にとってマイナスであり、住民は望んでいない。市の財政状況は過去10年間で好転し施設維持が可能な状況にあり、廃止計画の再考を

A 各地域では公民センターの維持・取り壊しの費用や利用頻度を考えて、譲渡受け入れか廃止かを決められたもので、その決定を尊重します。廃止した公民センターは民間による利活用を募集する方針です。

医療保険料の負担軽減

Q 子ども・子育て支援金の負担上乗せで、国民健康保険料が令和8年度から引き上げられる。医療保険料は医療のために使うべきもので、政府の不当な保険料値上げから住民を守るための負担軽減を

A 令和8年度新設の子ども・子育て支援納付金の加算により、年間国民健康保険料では1人世帯当たり約6000円、1人当たり約4060円、後期高齢者医療保険料では1人当たり2221円の負担増となる見

介護保険料の負担軽減

Q 介護給付費等準備基金の残高が令和7年度末も令和8年度末も15億円超の見込みになっており、明らかに保険料の集め過ぎである。令和8年度に暫定的に介護保険料を引き下げて、令和9年度以降の第10期の準備を進めるべきでは

A 準備基金の令和7年度末残高は15億9300万3743円となる見込みです。令和8年度策定の第10期計画で、準備基金を活用した介護保険料基準額の引き下げを視野に入れた協議・検討を慎重に進めていきます。



いちかわ なおき
猿渡 直樹が
問います!

込みです。これは子どもや子育て世帯を社会全体で支えるためとされており、市としては国の制度の趣旨に沿って適切に対応していきます。

その他の質問は
コチラから!



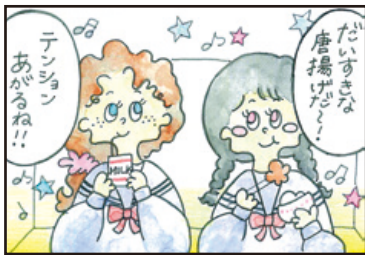
その他の質問は
コチラから!



・関市あるある!

学校給食は無料!

作:松山 かれん さん



学校給食無償化に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。(担当:学校給食センター)

No.10

イキイキ! せきのじん



郷土歴史の研究に取り組む中学生
緑ヶ丘中学校3年生
ふるた あいのすけ
古田 藍乃介さん(写真左)
いしはら なおやす
石原 直保さん(写真右)

小学生の頃から、古墳博士、山城博士と知られていた2人。中学生になっても調査や活動を精力的に行っています。

- Q どんな活動をしていますか?
- Q 2人が推しの関の遺跡は?

先日も考古学のイベントで鳥取に行ってきました。最近では、関市文化財保護センターが主催した古代の建築技法である「版築(はんちく)」の調査と実演に参加しました。普段は、関高校の地域研究部に中学生ながら参加し、シンポジウムやイベントを通じて活動しています。次は、春日神社の祭事「童子夜行(どうじゃこう)」の調査をしていきたいと考えています。

古田:弥勒寺官衙遺跡群です。美濃の古代豪族ムゲツ氏が治めた昔の役場です。ムゲツ氏のお墓と言われる池尻大塚古墳からでてきた鉄地金銅張飾金具は、全国でここだけでしか見つかっていません。

石原:津保城です。石垣もあって、コンパクトな中にいろんな要素がぎっしり詰まっています。縄張り図を見ていると想像が膨らんでワクワクします。

今後は、こども・若者議会でも言っていたように、知られていない関市の歴史をもっと広めて知ってほしいと思います。(古田)

「関の夏の風物詩・小瀬鶉飼」



昨年8月27日に関市議会と白川村議会の交流懇談会を行いました。その際に見学した小瀬鶉飼の様子を撮影したものです。

議会だよりの表紙写真を募集しています!

関市で撮った素敵な景色や笑顔の写真をご提供ください!

- ①お名前
 - ②写真の説明
- を添えて送ってくださいね。



第2回定例会は

6月5日(金)~ 6月29日(月)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会ホームページへ



- 編集・発行責任者 議会広報委員会
- 委員長 市川 隆也
- 副委員長 北村 隆幸
- 委員 川合 治義 安達 克也 長瀬 敦久
- 池村 真一郎 林 裕之 武藤 記子
- 栗山 守 足立 将裕 猿渡 直樹



編集後記

今回の議会だよりに編集時期である春の季節にはさまざまな節目を迎える人も多くいらっしゃいます。市民のみなさんにとっては、卒業や入学、進学や就職など、人生において節目となる季節でもあります。関市の予算が確定し、新しい施策も始まります。今年の桜はみなさんの目にどのように映っていたのでしょうか。さまざまな想いの中、議会だよりにては、市民のみなさんと共に、より良い明日を創るために、議会で行われている内容を、少しでも多く理解を深めていただけるようにと委員一同願っております。今後の「すぱっと」もご期待ください。